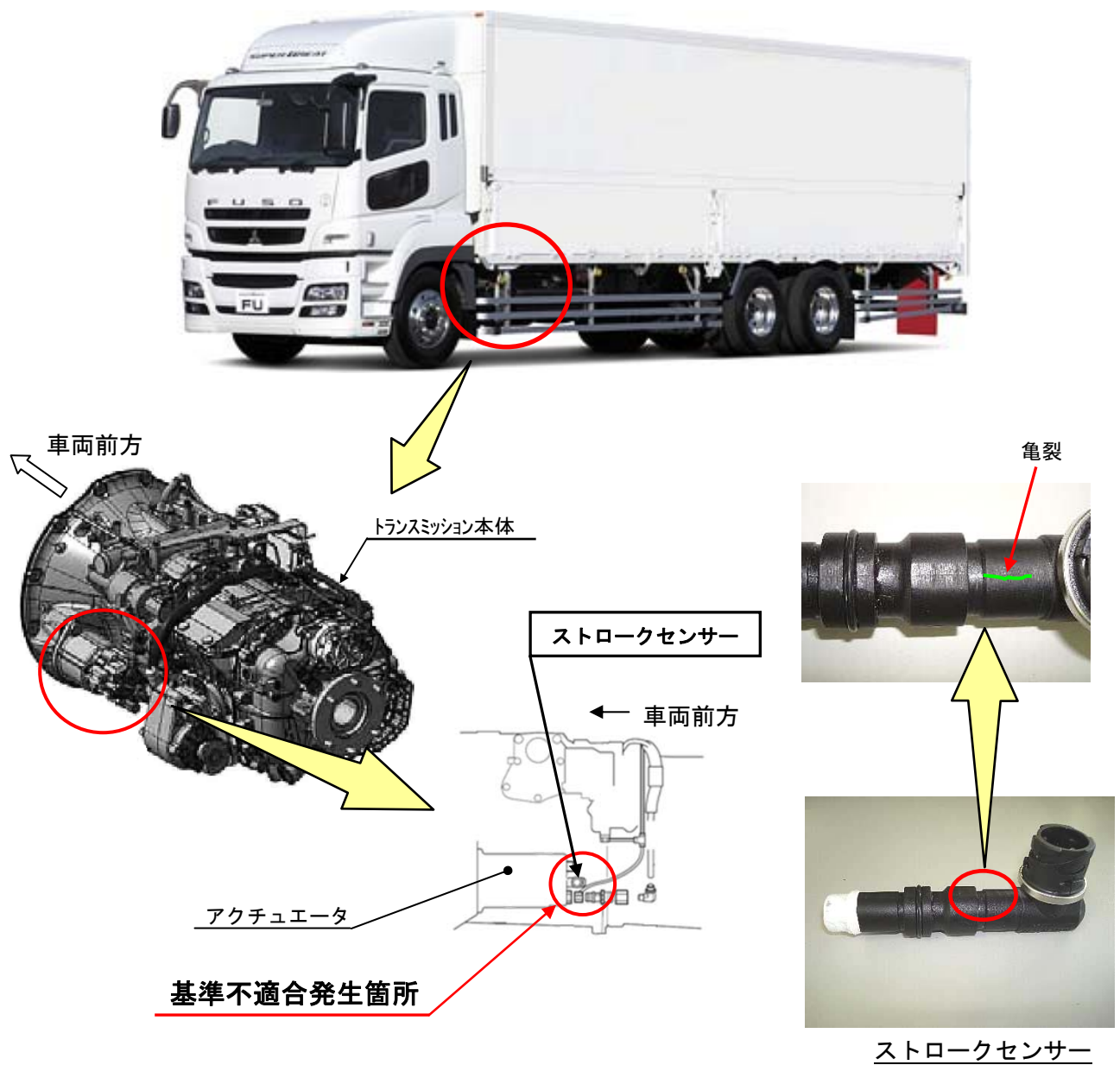


## 改善箇所説明図



大型トラックにおいて、クラッチの断・接状態を検知するストロークセンサーの製造が不適切なため、ストロークセンサー内部に水が浸入してコイル間が短絡する場合がある。そのため、安全制御が働き、クラッチが切れたままの状態となり、走行不能となるおそれがある。

### 改善措置の内容

全車両、クラッチのストロークセンサーを良品に交換する。

注：□ は交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「HD138」の文字が記載された白黄色シールを貼付ける。